

## 1. 大学としての教員養成に対する理念及び認定課程設置の趣旨等

本学は、平和な社会の発展及び人々の生活の質向上に向け、知の創造に寄与する学術研究を行うとともに、地域志向の教育研究を通じ、地域の文化の発展と健康・福祉の向上に貢献することを理念としている。また、以下4点を教育方針と定めている。

1. 幅広い教養と専門的な知識を活用して課題をグローバルで複眼的な観点から分析し探究できる人材を育成します。
2. 地域の文化の発展と健康・福祉の向上に向けて活躍できる人材を育成します。
3. 地域志向の教育を通して、地域社会や現場の課題を人々と協働して解決できる人材を育成します。
4. 大学院においては、専門性に基づいて変革をもたらす実践的な知のプロフェッショナル（高度専門職業人・研究者・教育者）を育成します。

本学における教員養成課程の設置は、教員という専門職業人の養成を通してこの理念・方針を達成することを目指したものであり、前身の高知女子大学以来、長年多くの教育関係者（公立・私立学校教員、民間学習機関講師等）を輩出している。そのうち大多数は、高知県内を中心に、四国・中国・九州・近畿など西日本各地に就職し、地域社会の教育を支えている。このような意味からも、本学における教員養成課程は地域に根ざし存在しており、公立大学としての責務を継続的に果たしてきたといえる。

本学の理念に則り、本教員養成課程においては、高度な専門的知識と技術の修得とたゆまない探究心の向上を基礎に、教員としての深い学識と確かな倫理性の涵養、今日的な課題に柔軟に対応し地域社会の発展に貢献しうる教員の育成を、基本理念としている。

特に、本学では「地域と大学をつなぐ」取り組みには実績があり、たとえば、教員養成課程の教職専門科目の「教育実習」（事前指導・事後指導）においては、市内外の現職教員や県内在住の人権研究者等を講師に迎え、教育の地域的特色やその課題について、直接的に学ぶ機会を設けている。また、この取り組みは、公開講座やリカレント講座においても実現されており、時代のニーズに応えるべく、専門的かつ最新の知識や教育に活用可能な技能を、教育関係者に向けても提供している。

今後は、人口構造の変化、科学技術の発展、グローバル化の進展など、急激な変化の中で社会の要請に常に応えつつ、未来を拓く実践力を育成する大学、知識基盤社会を支えていく新たな知を創出する大学、地域と共に育ち地域に育てられる大学を目指し、教育改革の推進の強化に取り組んでいく。

## 2. 認定を受けている課程を有する学科等の教員養成に対する理念及び設置の趣旨等

●文化学部文化学科（中学校教諭一種免許状（国語・英語）・高等学校教諭一種免許状（国語・英語））

本学科は、人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求できる人材を養成することを教育目標としている。

本学科教員養成においては、学士課程におけるこれらの教育目標を基本に据え、所属するゼミの演習で専門性を深めながらも、講読を基盤とする幅広い選択科目から学べる豊かな内容を学び、人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民の養成に努めている。

○中・高一種免（国語）：多様化・複雑化・グローバル化する社会環境の中、以下のような国語科教員の養成を目指している。

1. 現代の国語、古典（古文・漢文）の基礎から応用に及ぶ幅広い知識と豊かな言語感覚、確かな言語運用能力に裏付けられた国語の教科指導を行うことができる。
2. 国語、我が国の言語文化、言語教育に関心を持ち、生涯にわたって国語を学び続けることの意義を理解し指導することができる。
3. 豊かな人間性により、生徒の成長と発達を見守る教育的な愛情を備えている。
4. 少子化の中、地域の教育力の向上に講座等を通じ、積極的に関わることができる。
5. 我が国の文化の特質や中国など外国の文化との関係について、グローバルな視点で考察することができる。

○中・高一種免（英語）：多様化・複雑化・グローバル化する社会環境の中、以下のような英語科教員の養成を目指している。

1. 幅広い知識と高い英語運用能力に裏付けられた教科指導を行うことができる。
2. 英語、英語文化、教育について関心を持ち、学び続けることの意義を理解し生徒に伝えることができる。
3. 人間性豊かで生徒の成長と発達を支える教育的愛情を備えている。
4. 少子化の中、地域の教育力向上に積極的に関わることができる。
5. 世界に目を開き、物事をグローバルな視点で考察することができる。

## ●看護学部看護学科（養護教諭一種免許状）

本学科は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを教育目標としている。本学科の教員養成においてはこの教育目標のもと、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学、地域看護学に関する看護臨床科目を教員養成の教育課程関連科目として位置づけている。そして、その他の看護臨床科目及び人体や人間の心に関する専門基礎科目や看護基礎科目を学び、これらの授業科目で学んだことや看護実習での経験も教員養成の教育課程を支援する学修として位置づけ、養護の専門性により密接につながるよう教職実践力の育成に努めている。

## ○養教一種免

1. 専門的知識に基づいて、児童生徒等を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力の養成
2. 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて学校保健を実践することができる能力の養成
3. 教育・保健・医療・福祉などの児童生徒等の健康課題にかかわる場において、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力の養成
4. 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して学校保健の対象となる人々と関係性を築くことができる能力の養成
5. 専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって学校保健の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力の養成
6. 国際的・学際的見地に立って児童生徒等の健康と安全・安心な暮らしを支える学校保健を創造することができる基礎的能力の養成

### ●健康栄養学部健康栄養学科（栄養教諭一種免許状）

本学科は、豊かな教養と社会の諸問題に取り組む態度を身につけ、人間や健康の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう貢献できる人材を養成することを教育目標としている。

この教育目標のもと、本学科教員養成においては、人が心豊かに、かつ健康で生活できる社会の実現をサポートできる専門職種としての栄養教諭の育成を目指している。また、複雑化する少子・高齢社会の進展に対応して、乳幼児期から、青年期、壮年期、高齢期に至る人間の生涯にわたる発達と、健康生活の保持・増進に貢献できる専門知識・技能・指導力を有する人材育成に努めている。

### ○栄養教諭一種免許

1. 栄養教諭として質の高い、高度化・専門化に対応できる教育実践能力・豊かな人材を養成
2. 児童生徒が自らの意思で生きる力を発揮できるよう、児童生徒の立場を理解し、行動し、支援できる能力を養成
3. 学校、家庭、地域、他職種との連携の図れる統合実践力のある人材を養成
4. 児童生徒の食生活や健康上のニーズに対応する問題解決能力、柔軟な思考力（科学する心）と実践力を養成
5. 国際的視野に立って学校給食、栄養の指導の学際的发展を推進する能力の養成

●看護学研究科看護学専攻博士前期課程（高等学校教諭専修免許状（看護）・養護教諭専修免許状）

本課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度な専門的実践能力と看護分野における研究能力を養うことを目指している。

高等学校教諭一種免許状（看護）及び養護教諭一種免許状を有するものが、学修をとおして、高度な教育実践力と、各々の専門領域の変革に寄与する研究能力を身につけられるように、看護学や教育に関連する学問領域の学術的基盤を形成する共通科目、専門性を高める領域専門科目を配置したカリキュラム（教育課程）を編成している。

○高専免（看護）

1. 個人 - 家族 - 学校 - 地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護教育実践ができる能力を有している。
2. 学校や地域社会、生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる能力を有している。
3. 社会のニーズや健康、看護教育に関する課題に積極的に関与し、他の職種専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している。
4. 学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護教育に関する事象を研究的視点でとらえ、論理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献できる能力を有している。
5. 看護教育実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育・研究能力を有している。
6. 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる能力を有している。

○養教専免

1. 個人 - 家族 - 学校 - 地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、学校保健に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な学校保健を実践できる能力を有している。
2. 学校や地域社会、生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる能力を有している。
3. 社会のニーズや健康、学校保健に関する課題に積極的に関与し、他の職種専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している。
4. 学際的視点をふまえて学校・教育や政策の場で学校保健に関する事象を研究的視点でとらえ、論理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献できる能力を有している。
5. 学校保健の実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究を通して、看護学の体系

化とその発展に貢献できる教育・研究能力を有している。

6. 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる能力を有している。